

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和4年 9月14日

ふりがな	きりしましはるやまちくかっせいかけいかく
活性化計画名	霧島市春山地区活性化計画
ふりがな	かごしまけんきりしまし
計画主体名	鹿児島県霧島市
計画期間	平成28年～令和2年
事業実施期間	平成28年～令和元年度
活性化計画区域	春山地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
交流人口の増加	393,000 人	399,539 人	101.66%	
雇用数の増加	10 人	26 人	260.00%	
地域産物の販売額の増加	182,834 千円	218,639 千円	119.58%	

(コメント)

農業交流施設等を整備することにより、新たな雇用の場を創出し、目標を大きく上回る雇用者数を達成した。また、交流人口の増加及び雇用数の増加、地域産物の販売額の増加についても目標数値を達成した。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	(1) 地域資源活用交流促進施設 (2) 農林漁業・農山漁村体験施設 (3) 地域資源活用交流促進施設 (4) 高生産性農業用機械施設	
事業内容及び事業量	(1) 農業交流施設1棟 鉄骨2階建 953.95 m ² (2) 農林業体験施設1棟 鉄骨1階建 352 m ² (3) ワイン製造施設1棟 鉄骨1階建 150 m ² (4) 低コスト耐候性ハウス(省エネルギーモデル温室苺栽培ハウス) 1,400 m ²	
事業実施主体	(1)～(4)(農法)霧島さくら農園	
管理主体	(1)～(4)(農法)霧島さくら農園	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
(1) 平成28年 (2) 平成29年 (3) 平成30年 (4) 平成30年	(1) 平成29年 (2) 平成29年 (3) 令和元年 (4) 平成30年	(1) 平成29年5月25日 (2) 平成30年2月28日 (3) 令和元年9月2日 (4) 平成31年3月25日
事業の効果	事業実施により、農業交流施設などが整備され、新規雇用の創出に繋がった。また、農業交流施設におけるイベントの開催等を行い、都市農村の交流が図られたことで、春山地区に24.7万人(計画最終年度)が訪れ、計画時(H27)より約11.2万人増加し、地域農産物の販売額も増加した。その結果、農山漁村における雇用の確保及び交流人口の増加、地域産物の販売額の増加が実現され、春山地区の活性化につながった。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)

「平成28年霧島市春山地区活性化計画」における事業を実施した結果、春山地区においては新型コロナウイルス感染拡大による内外の人の移動制限により、観光バス等の団体客に大きな影響を受けたが、家族客や個人客は逆に増加したため、交流人口の増加及び雇用数の増加、地域産物の販売額の増加について、目標数値を達成した。

今後、人の移動制限が緩和され団体客が増加すると思われる。アフターコロナを見据えた適切な感染防止対策及び安心・安全対策を徹底して事業を実施し、更なる交流人口の増加、雇用数の増加、地域産物の増加を図り、春山地区の地域活性化に貢献する。

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 春山自治会長	(氏名) 平田 俊弘
<p>(コメント)</p> <p>農業交流施設等の施設整備により、これまでの各観光農園の固定客に加え、新たに春山地区を訪れる方が増え、相対的な春山地区における交流人口の増加や地域産物の販売額増加につながっており、春山地区の地域活性化に寄与している。また、農業交流施設「さくら館」については、春山自治会の集会を行うなど地域の交流施設としても機能している。</p> <p>今後も集客のためのイベント等を継続的に実施し、交流人口の増加を図るなど、更なる地域活性化への取組を進めてほしい。</p>		